

令和6年度 介護ロボットメーカー連絡会議の開催について

1. 開催の背景

生産年齢人口が減少していく一方、介護ニーズが増大していく中で、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の働く環境改善を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっております。

現在、介護分野における福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」）は、様々な分野で様々な主体により利用されており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズを踏まえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれの段階で必要な取組を実施する必要があります。

厚生労働省では、「令和6年度・介護現場の生産性向上に向けた介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」）においては、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化するために、地域における介護ロボットのニーズ側（介護現場等）・シーズ側（開発企業等）の一元的な相談窓口（地域拠点）、開発実証のアドバイス等を行うリビングラボのネットワーク、実際の介護現場における実証フィールドからなる、介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームを整備することとしています。

また、昨年度より、地域医療介護総合確保基金を活用した「介護生産性向上推進総合事業」においても、介護現場革新のためのワンストップ窓口（介護生産性向上総合相談センター）の設置等により、地域の多様な関係者の参画の下、生産性の向上や働きやすい職場環境づくりなどを進められています。

こうした背景を踏まえ、当協会では、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することにいたします。

2. 事務局

本会議は、「福祉用具・介護ロボット実用化支援・広報等一式」における介護機器の普及に係る取組の一環として位置付け、当協会が行います。

{	公益財団法人テクノエイド協会 担当：伊東、松本、五島（ごしま）
	〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
	電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
	E-mail robocare@techno-aids.or.jp

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 「ロボット介護機器開発等推進事業」において採択され、既に商品化したロボット介護

機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）

- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないことといたします。）

4. 参加申し込み

会場とWebでの開催とします。

ただし、インフルエンザ等感染症を予防する観点から、Web開催のみに変更する場合があります。

【参加方法】

テクノエイド協会のホームページの申込フォームからご登録下さい。

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24_detial

※）会場での参加は、180名の先着順となります。

【参加費】

無料



5. 開催内容

- (1) 日時：令和6年6月7日（金）10時00分～14時40分
- (2) 場所：TOC有明（東京都江東区有明）
4階コンベンションホール EASTホール（E4～5）
Web参加ご希望の方には、後日会議への招待アドレスを送信いたします。
- (3) 内容：下記の通り

【第1部】

(行政報告)

10:10～10:50

① 介護ロボットに係る施策の動向＜各20分＞

厚生労働省 老健局 高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏
経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課

医療・福祉機器産業室 室長補佐 柴垣 宙央 氏
産業保安グループ製品安全課

川本佐以子 氏

(情報提供)

10:50～11:40

②福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について＜30分＞

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 松本美樹子

- ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組み
意見交換及びアドバイス支援、モニター調査事業の実施について
- ・介護ロボット地域フォーラムの開催について
- ・都道府県における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について
- ・福祉用具・介護ロボット試用貸出事業の実施等について
- ・介護機器の安全利用に関する情報の整理・報告・発信について
- ・その他、令和6年度の主な事業予定について

③介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業等の取組み状況＜20分＞
株式会社NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエーションユニット 太刀川 遼 氏

～ 休憩 ～

【第2部】

(取組報告) ＜各20分＞

12:40～13:40

④プラットフォーム事業におけるリビングラボの機能について

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 柏リビングラボ 松本 吉央 氏

⑤プラットフォーム事業における相談窓口の機能について

公益財団法人いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター 玉山 公一 氏

⑥ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターの活動について

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 安藤 悠 氏

(基調報告) ＜各20分＞

13:40～14:20

⑦高齢者の自立支援と介護現場の生産性向上を目指して

・介護ロボット等の意見交換やアドバイス支援、モニター調査等の取組を通じて（仮称）

広島パークヒル病院 西広島幸楽苑 リハビリテーションセンター 技師長 山口 雅子 氏

・介護ロボット等におけるモニター調査実施のポイント、留意点について（仮称）

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団 鈴木 光久 氏

質疑応答、名刺交換 ＜20分＞

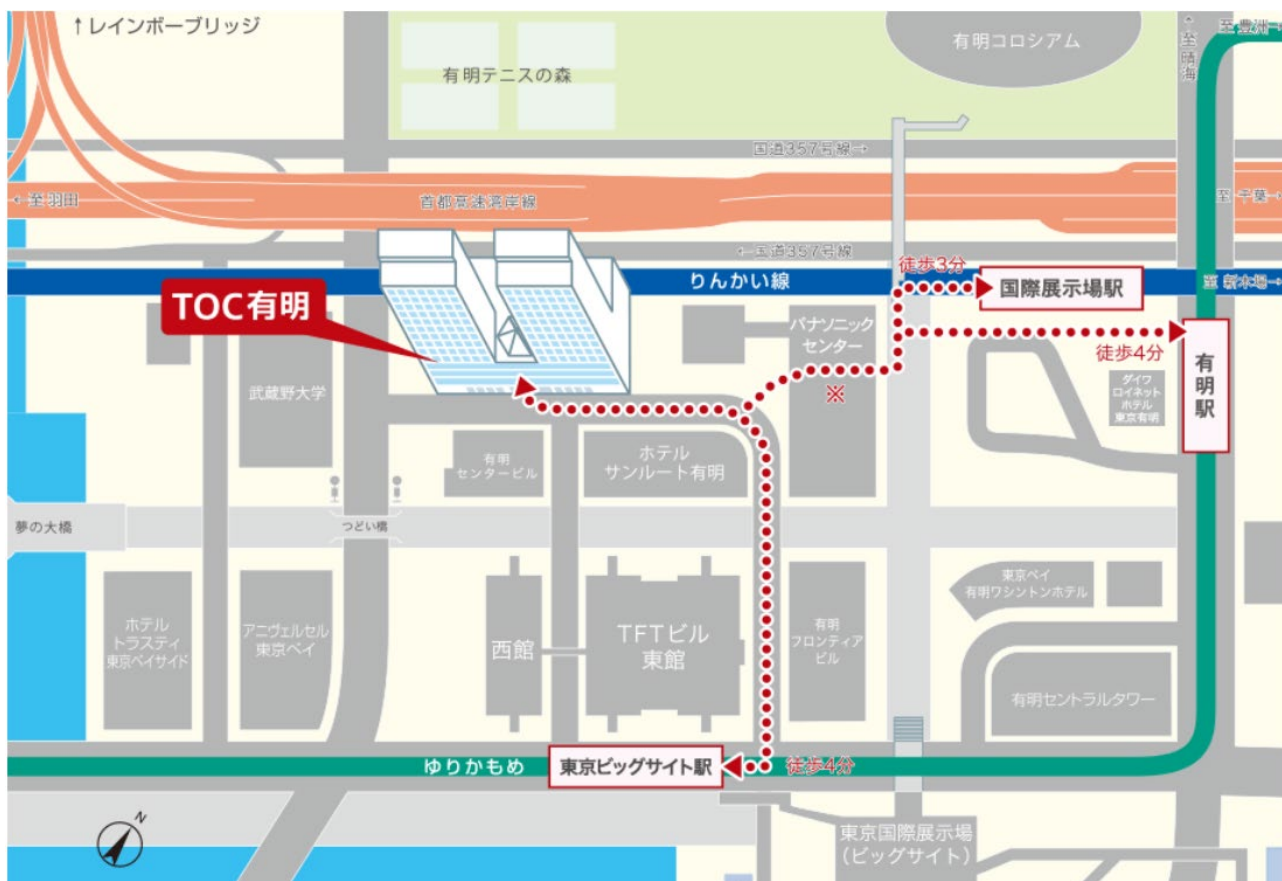
14:20～14:40

※会場参加の方におかれましては、会議終了後に名刺交換のお時間を設けます。

～ 閉会 ～

(会場地図)

会場：T O C有明 4階コンベンションホール E A S Tホール (E-4～5)



○会場の住所

東京都江東区有明3丁目5番7号 有明 4階コンベンションホール E A S Tホール

電話 03-5500-3535

○電車でのアクセス

りんかい線「国際展示場」駅より徒歩3分

ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅「有明」駅より徒歩4分

○車でのアクセス

首都高速湾岸線「有明」「臨海副都心」出口より約5分、同台場線「台場」出口より約5分